

エイジフレンドリーシティ 行動計画ワークショップ

テーマ1 身近なエイジフレンドリーを考える(商い・人・まち)

かわら版

第6回

日時:平成25年1月18日(金) 午後6時30分～午後8時
会場:ねぶり流し館 4階 練習室
進行:NPO法人あきたNPOコアセンター
主催:秋田市

当日の流れ

- 6:30～ 開会
これまでのふりかえり
- 6:45～ グループワーク
「事業案の再チェック」
- 7:10～ 意見交換
「実行のための
組織のあり方について」
- 7:45～ 第2部会の動向
「グラウンドワークの提案」
- 8:00 終了



事業案の再チェック!

一回目から六回目までワークショップの経過をふりかえり、あらためて目的とプロセスの再確認をした後、行動計画の2案、「**お店の裏側が見える1日店長**」と「**街のコンシェルジュ**」について、追加項目等をグループ毎にワークシートに書き込み、発表。追加された項目には以下のようなものがありました。

「お店の裏側が見える1日店長」

→事業推進委員会の起ちあげ

- 商店街・企業・団体・キーマンの理解を得る
- 無理のない頻度で継続的に開催(月1くらい)
- 「通(つう)の市」などイベントと同時開催
- 情報発信に様々なメディアを活用
- 歴代店長の写真を店内に提示する

部会 I 6回目	
テーマ	誇りに思える街、秋田っていいなあ～
プラン	1. お店のうら側が見える1日店長さん
	① 年齢は問わず通町・大町商店街で～
	①-1
イメージ	・店長は複数でもよい
	・企画から販売、接客まで行うことで楽しん
	・毎回テーマを決めて、ターゲットに合った

「街のコンシェルジュ」

→代表者が必要

- 継続して評価を高める・市外にも広がりを目指して「100名のコンシェルジュ」を目指す
- コンシェルジュの認定や商店街検定
- 店主や商店街の悩みをきく場面もあるといい
- テーマ毎にグループを募って企画
- 回覧板などで宣伝を行う

実行のための組織のあり方について

事業の実行にあたり、組織のあり方について検討を行いました。「1日店長」と「街のコンシェルジュ」、どちらかに関わりたいほうを選び、各2名ずつの**代表**と2つを取りまとめる**幹事役**を1名選出しました。また、代表者はあくまで活動をうまくすすめるための連絡調整役であり、**みんなで参加し**、**みんなでつくっていく**ことが大切との意見も出されました。

「まちあるき」をしよう!

「普及啓発情報発信」の第2部会から、1月に開催するまちあるきの情報提供と参加の呼びかけがありました。「**大町・通町で『どーも』を探そう!**」というタイトルで、お店やまちなかを歩いて、自分が「どうもありがとう」と思えることを再発見する内容のグラウンドワーク。自分も他の人も「どうもありがとう」と思えることに、エイジフレンドリーのヒントがあるのでは?というのがこの企画のねらいです。まちあるきでの発見をまとめたものを、2月24日の「エイジフレンドリーシティフォーラム」で紹介予定。第1部会としても、ぜひ有志で参加するはこびになりました。第1部会と第2部会が融合し、あらたなステージに向けて、良い一歩の機会になりそうです。



皆さんの笑顔と拍手で終了した最終回。ワークショップ自体はいったん終了ですが、その雰囲気は今後の活動に向け、あらたな意気込みを感じるような清々しさでした。皆さんで考えてきた「高齢者にやさしいまちづくり」の想いが、まちなかに花開いていく姿を思い、とても楽しい気持ちでいっぱいです!

